

生き残らなければ何も始まらない

# 体験型 減災 災害対応訓練



本物の「火炎」を使った消火体験もできるよ

「複合災害」を想定したリアルな体験型の訓練です。  
ぜひ、家族で近所の方と一緒に参加してください。

日時：令和4年11月5日（土曜日）9：30～12：00

会場：座間市役所ふれあい広場（緑丘1-1-）

参加費：無料 小雨催行・荒天時の対応は裏面参照

持ち物：マスク・帽子・手袋・タオル・飲料水



## 安全空間作り

生き残れますか？  
怪我をしませんか？



今夜、震度6クラスの地震が来た時に、大丈夫？

- あなたのおうちの耐震化は大丈夫ですか？
- 家の中に安全空間はありますか？
- 家具は固定されていますか？
- テレビはワイヤーで固定されていますか？
- 食器棚などのガラスの飛散防止対策は？



電気が止まると「水」も止まります。

- トイレが使えなくなります。排泄が出来ません。
- マンションにお住まいの方…備えていますか？  
管理組合でルールを作っていますか？
- 排せつ物の後処理はどうしますか？

## 出す

「排泄」のことです・・・

最低5日分の食べ物を備えていますか？

- 電気・ガスは止まります。復旧までかなりの時間がかかります。代替りの熱源はありますか？
- 災害でも、普段の食事ができますか？
- ミルク・離乳食は、当初は誰にも頼ることはできません。

## 食べる

米・ミルク…大丈夫？  
アレルギー対策は？

一人1日3リットルの水を最低5日分・・・

- 電気が止まると配水所が機能しなくなります。給水停止。
- 給水所はどこにあるか知っていますか？
- 給水所から、自宅へ運ぶ器具や用具はありますか？
- 生活用水はどうやって確保しますか？



## 飲む

飲用水・生活水は？

## 情報の確保

灯りは、電気は、スマホは？



## 応急手当

応急搬送・身近なものでの応急手当の体験をします。

電気は止まります。復旧にはかなりの時間がかかります。  
その間、暗闇のなかで生活できますか？

- 首都が被災地です。復旧作業は優先順位がありません。
- 最悪5日間程度、電気は期待できません。
- 発電機・・・物流も止まります。燃料も入らないことを考えましょう。「太陽光蓄電池」を考えましょう。見本実働機器を展示します。



救急車は期待できません。軽症者を病院へ運ばないで・・・

- けが人の応急処したらいいのかな？
- 医療資機材はありますか？ 身近なもので応急手当をしよう。
- 「助けたい人より、助けやすい人」をの意味を知ってください。
- コロナ対策はどうなのかな？ 検温・消毒・三密回避・マスク

この体験型の訓練は、近い将来「首都直下」で発生が想定されている地震の被害を少しでも少なくする「減災活動」と、生き残った「いのち」を守り、「生き抜く技」を自分で体験する訓練です。身に付けた「技」を地域の、平時の「減災活動」や「災害対応訓練」に生かしてください。

### 《参加にあたっての注意事項》

炊飯体験は、コロナ対策のため、予約を含め先着100名で打ち切らせていただきます。また、炊きあがった食事は、お持ち帰りください。

緑が丘地区以外の参加者もおられますので、あらかじめご承知おきください。

（炊きあがった炊飯は自宅へお持ち帰って食べてください）

その他の体験は、ソーシャルディスタンスを取って体験科目グループごとに、誘導員の誘導で「密」を避けて体験してください。応急手当などは、1回の体験人員を制限するために全員が体験できないこともあります。ご理解をお願いします。



《会場案内図》ふれあい広場

新型コロナウイルス感染防止のために、会場出入りに際して、その都度、検温と手指消毒をしていただきます。マスク着用にご協力ください。会場で連絡先の電話番号を伺います。電話番号は本企画外では使用しません。

参加ご希望の方は QRコードまたは、電話にて  
座間市危機管理課

または、メールにてざま災害ボランティアネットワークへお申し込みください。

### 座間市＋ZSVNの令和4年度 協働事業

【問い合わせ先】 座間市危機管理課 電話：046-252-7395

FAX: 046-252-7773

または、NPO法人 ざま災害ボランティアネットワーク

E-MAIL: zama.saigaiVN@gmail.com

★荒天時中止確認は市役所代表電話:046-255-1111で確認願います。